



2015年度

西大和学園カリフォルニア校

学校便覧

I. 学校の概要と沿革

1 学校の概要

- (1) 名称 西大和学園カリフォルニア校 Nishiyamato Academy of California
- (2) 設立年月日 1992年7月22日
- (3) 開校年月日 1993年4月10日
- (4) 所在地 2458 Lomita Blvd., Lomita, CA 90717
Tel (310) 325-7040 Fax (310) 325-7621
E-mail : mail@nacus.org Home Page : www.nacus.org
- (5) 設立者 学校法人 西大和学園 会長 田野瀬良太郎
- (6) 校長 西川勝行

2 沿革概要

- 1991年3月 西大和学園中・高等学校国際部長北谷成人設置調査のため渡米
- 1993年4月 松本伸司初代校長着任
西大和学園カリフォルニア校カバナントチャーチ校舎にて開校
小学6年、中学1年、2年開設
- 1994年4月 小学5年、中学3年増設
- 1994年9月 ダブルグレー校舎に移転
- 1995年4月 北谷成人第2代校長着任
西大和学園カリフォルニア校 附属幼稚園開園、小学4年増設
- 1996年3月 文部省より在外教育施設として認定される
- 1996年4月 小学1年～3年増設
- 1999年4月 片岡一延第3代校長着任
- 2000年10月 ロミタ校舎完成・竣工式
- 2002年4月 西浦将芳第4代校長着任
- 2002年6月 西大和学園補習校開校 小学4年、5年、6年開設
- 2003年4月 西大和学園補習校 幼稚園年長、小学1年、2年、3年 中学1年増設
- 2004年4月 西大和学園補習校 生徒数増加に伴い二校舎制ならびに複数学級制開始
幼稚園年長～小学4年ロミタ校舎、小学5年～中学2年パロスバーデス校舎（リッジクレスト）
- 2005年4月 西大和学園補習校 中学3年増設
- 2007年4月 西大和学園補習校 生徒数増加に伴い、幼稚園年長～小学3年ロミタ校舎
小学4年～中学3年生パロスバーデス校舎
- 2008年4月 上村佳永第5代校長着任
- 2009年9月 西大和学園カリフォルニア校 附属幼稚園年少組開設
- 2010年4月 西川勝行第6代校長着任
西大和学園補習校 幼稚園年中組増設
- 2010年9月 西大和学園カリフォルニア校 附属幼稚園プレ年少組開設
- 2011年4月 西大和学園補習校 アーバイン校舎 開設
- 2012年10月 西大和学園サンノゼ校幼稚園開校（姉妹園）
- 2014年10月 西大和学園カリフォルニア校 運営委員会設立

3 西大和学園カリフォルニア校 運営委員会

西大和学園カリフォルニア校が地域や保護者との信頼関係を深め、学校運営の改善や、園児・児童・生徒の健全育成に取り組む適切な学校運営のため、学校運営委員会を設置する。

4 校訓 探究 誠実 気迫

5 教育理念

- 探究（知育） 未知の世界に深い関心を持ち、自己の可能性を最大限に伸ばす人間を育てる。
誠実（徳育） 人間尊重の精神に基づき、他人の価値観を尊重し、信愛の情を持って人に接する心を養う。
気迫（体育） 心身を錬磨し、たくましい精神と体力を育てる中で、何事にも公明正大で、責任をもってやり遂げる気概と困難に打ち克つ力を育てる。

6 西大和グローバル教育のめざす八つの人格（8 Personalities）

- (1) 花のように、笑顔で挨拶できる人
Be able to greet others with a dazzling smile like the blooming flower.
- (2) 海のように、異なる文化社会を受け入れる人
Be able to accept all diversity like the limitless ocean.
- (3) 山のように、知識と教養を積み上げる人
Be able to accumulate knowledge like the towering mountain.
- (4) 炎のように、問題解決に突き進む人
Be willing to solve difficult problems like the flaring fire.
- (5) 大空のように、世界の平和を願う人
Be considerate and wish for world peace like the endless sky.
- (6) 雑草のように、世界のどこでも生き抜く人
Be able to thrive in any environment like the determined root.
- (7) 川のように、謙虚に清んだ心を持つ人
Be humble and have an understanding heart like the lucid river.
- (8) 太陽のように、夢の実現に挑戦できる人
Always challenge yourself to obtain your dreams like the vivid sun.

7 生活実践目標

- 場を清め、時を守り、礼を正す。
環境が心を育て、時を守ることが社会人としての第一歩であり、感謝の念を持つことが自立の基礎となる。

8 教育方針

① 道徳指導

- (1) 教師と子供、子供と子供の人間活動を密にし、本校の園児・児童・生徒である誇りを持たせるようにする。また、日本人としての誇りと行動力を高めるように、学校におけるすべての教育活動を通して指導する。
- (2) 毎日の教育活動を通して他人に対する思いやりの気持ちを育み、自分も含めすべての人の基本的な人権を尊重する精神を持たせる。そして、あらゆる差別を許さない鋭い感受性を身につけさせる。
- (3) 集団活動を通して豊かで充実した学校生活を送り、自主的な態度を育成するために特別活動の充実を図る。
- (4) 働く喜び、協力することの大切さを身につけるとともに、一人一人に学習課題を見つけさせ、問題解決の能力を育む。

② 学習指導（小学部・中学部）

- (1) 学習指導要領の趣旨を踏まえて授業時間数を確保し、ゆとりのある、しかも充実した学習指導を展開し、基礎学力の定着を図る。
- (2) 一人一人の子供に学習する喜びと意欲を持たせ、個々の能力を最大限に開花させる。帰国後の進路保障をより確かなものにする。

③ 健康安全指導

- (1) 体育の授業はもちろんのこと、学校教育活動全体を通して体力の向上に努め、粘り強く心身共にバランス良く成長した子供を育てる。
- (2) 安全教育を計画的に行い、事故防止の徹底を図る。

④ 国際理解教育

本校がアメリカ合衆国に創設された趣旨を理解し、英語教育に力を入れる。アメリカの地理・歴史・文化・風土・習慣に直接ふれ、他の文化を理解・吸収できる柔軟な精神の育成に努める。

⑤ 環境教育

現在世界全体が直面している環境問題を直視し、常に問題意識をもって行動できる21世紀のリーダーたる人材の育成にあたる。また、積極的に奉仕活動に参加し、身の回りの環境、地球を大切にすることを育む。

⑥ 教科の指導の重点 (小学部・中学部)

- 国語
 - ・「読む」「書く」「聞く」「話す」などの教育活動を通して、国語の理解力、表現力を養う。
 - ・美しく正確に書写する力を身につけさせる。
- 社会
 - ・学年に応じて、社会生活についての理解を図り、児童生徒が学習意欲を持つ教育活動を行う。
 - ・社会的視野を広めるとともに、国際社会に対応できる学習を進めるための工夫を行う。
 - ・我が国の国土と歴史に対する理解を深めるよう指導する。
- 算数・数学
 - ・数量や図形に関する基礎的な概念や原理を理解させ、より進んだ数学的な考え方や処理の仕方を生み出すことができるように指導する。
 - ・事象の考察に際して、数量的な観点から適切な見通しを持ち、筋道を立てて考えると共に、目的に照らして結果を検討し、処理できるように指導する。
 - ・教育教材の効果的な活用方法を考え指導する。
- 理科
 - ・児童生徒が興味を持って学習に取り組み、自然を調べる楽しさ・面白さを味わえる指導を行う。
 - ・日常生活との関連性を考え、社会で生かせる知識を習得する。
 - ・科学的な見方や分かる喜び、充実感が味わえるように指導法を工夫する。
- 音楽
- 図画工作
 - ・造形活動を通して、人間として大切な好奇心と創造力、豊かな感受性と共有の心を育て、生き生きとした知恵と生きがいを持つ子供を育てる。
- 美術
- 家庭 (小学部)
 - ・日常生活に必要な基礎的知識と技能を習得する。
- 技術・家庭
 - ・衣食住に関する実践的な学習 (園芸・制作・情報) を通して、これからの生活を豊かなものにしようとする態度を養う。
- 体育 (小学部)
 - ・誰もが楽しく、意欲的に取り組みながら、健康の増進及び体力の向上を図る。
- 保健体育
- 英語
 - ・外国語を理解し、外国語で表現する能力を養う。
- 生活
- 総合的な学習の時間 (ELD、英検学習を含む)
 - ・学習指導要領の趣旨を生かし、体験学習や個性を重視した教育活動を行う。
 - ・外国語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。
 - ・校外研修を充実させ、幅広い学習活動を通して、異文化に対する興味、関心を高め、更なる探究活動、国際理解、主体的創造的に課題解決に取り組む姿勢を育てる。

9 教育課程

小学部

学年	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画 工作	体育	家庭	総合 ELD・英語	道徳	特別 活動	合計
1年	9		4		3	2	2	3		5	1	1	30
2年	9		5		3	2	2	3		5	1	1	31
3年	7	2	6	3		2	2	3		5	1	1	32
4年	7	2	6	3		2	2	3		5	1	2	33
5年	5	3	5	3		2	2	3	2	7	1	2	35
6年	5	3	5	3		2	2	3	2	7	1	2	35

中学部

学年	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健 体育	技術 家庭	英語	総合 ELD	道徳	特別 活動	合計
1年	5	4	5	3	1	1	3	1	5	4	1	2	35
2年	5	3	5	4	1	1	3	1	5	4	1	2	35
3年	5	4	5	4	1	1	3	0.5	5	3.5	1	2	35

総合的な学習は総合の時間とELD以外にも校外研修等の学校行事を通して行う。

10 小・中学部校時表

小学部	
朝の会 (英単語)	8:20 ~ 8:35
1	8:35 ~ 9:20
2	9:30 ~ 10:15
中休み	10:15 ~ 10:35
3	10:35 ~ 11:20
4	11:30 ~ 12:15
昼休み	12:15 ~ 13:00
清掃	13:00 ~ 13:15
5	13:20 ~ 14:05
6	14:15 ~ 15:00
7	15:10 ~ 15:55
終わりの会	15:55 ~ 16:10
8	16:20 ~ 17:00

中学部	
読書	8:15 ~ 8:25
朝の会	8:25 ~ 8:30
1	8:30 ~ 9:20
2	9:30 ~ 10:20
3	10:30 ~ 11:20
4	11:30 ~ 12:20
昼休み	12:20 ~ 13:00
清掃	13:00 ~ 13:15
5	13:20 ~ 14:10
6	14:20 ~ 15:10
7	15:20 ~ 16:10
終わりの会	16:10 ~ 16:20
8	16:30 ~ 17:15
9	17:25 ~ 18:10

※小学部は学年ごとに下校時間が異なります。詳細は各担任にご確認ください。

II. 西大和学園カリフォルニア校 校則

1 生活指導関係内規

本校の教育目標に沿って、教養を高め、人格を向上させ、学友と協力して明るく平和な学校生活を送り、気迫に満ちた校風を樹立しなければならない。

① 服装

学校指定の制服を着用する。また、体育や特別活動の場合は、学校指定の体操服を着ること。

制服についての規約

(1) 制服の着替えについて

① 幼稚園

園庭遊びや、体育的な活動の際、担任が内容にあわせてその都度スモックやNAC-Tシャツ（体操服）に着替えさせることとし、事前に必要があれば保護者に通知する。

② 小学部・中学部

- ・体操服は、小学部は月曜日に持参、中学部は体育がある日に持参し、ロッカーに入れておく。
- ・小学部低学年は学校生活に慣れるまで着替えは段階を経て行うこととし、生活や図工などの授業で、特に汚れを伴う活動の際も適宜保護者に通知する。
- ・体育の授業では前後に着替えることとする。場所は2学年合同で体育を行うことから、2教室で男女に分かれて各教室で着替えを行う。

(2) 以下のものは学校指定ではなく各自自由とする。

靴・靴下・通学カバン・帽子・ベルト等

(3) ピアス、ネックレス、マニキュアは不可とする。

(4) 女子のスカートの丈は膝上辺りを基本とし、短くなりすぎないこと。また、ジャンパースカートやスカートの下にはバイクショート（学校オプションか又は自由）を着用のこと

(5) ポロシャツの下は各自判断でタンクトップやランニングなどの下着を着用する。

(6) 3年生以上の女子でも、セーラーブラウスは希望すれば着用することができる。

(7) 女子で、長ズボン・半ズボンを希望すれば着用することができる。

(8) 冬季の上着については、オプションのロゴ入りパーカーかカーディガンか、黒又は紺色の私服を着用すること。

(9) フリードレスデー

天候等で学校より私服で登園・登校する日を事前に定め、家庭に通知することとする。

② 言葉遣い・態度

言葉遣いや態度は、常に誠実さと気品を保ち、自分の言動に対しては、責任を持たなければならない。

- (1) 言葉遣いは、はきはきと明確にし、粗野に流れないこと。
- (2) あいさつを励行し、感謝の気持ちをもって人に接する。
- (3) 常に身の回りを整頓し、自分のものも公共のものも分け隔てなく大切にする。
- (4) 時間を守り、何事も5分前精神を励行する。
- (5) 年長者には礼儀正しく尊敬の念をもって接し、友人後輩には思いやりの心をもって、好ましい人間関係を築く。

③ 所持品

所持品は、西大和学園カリフォルニア校の児童・生徒としての品位を失わず、効果的に学習できる品物をもつように心掛けること。

- (1) 所持品には、すべてしっかりと記名すること。
- (2) 学習に不必要なものは、持参しないこと。
- (3) 紛失・盗難・拾得については、すぐに学級担任に届けること。
- (4) 金銭の貸し借りは禁止する。

④ 問題行動

暴力行動など問題行動を起こした場合は、学級担任が保護者に連絡を取り、適切な指導を行う。改善が見られない場合は、校長、教頭が注意を行い、さらに改善されない場合は、停学、退学処分を含めた指導をする。

2 教務関係内規

① 出欠に関する規定

朝の会や終わりの会の時間に学級担任が、各授業の始めには、教科担任が出欠をとる。遅刻・早退・欠席をする場合は、朝8時から8時15分までに必ず保護者が学校に連絡すること。

② 休学について

学級担任及び事務室に申し出て、必要な手続きを行う。

③ 退学について

転出が決定した場合、早急に学級担任及び事務室に申し出て、手続きを行う。

④ 進級卒園/卒業について

進級、卒園及び卒業の認定は、規定の日数登園登校し、相当の学業を修めたものと認めるときに校長が行う。

⑤ 成績の通知について (小学部・中学部)

- (1) 成績の通知は、各学期に「通知簿」をもって行う。
- (2) 成績評価については、絶対評価で、小学部1・2年は3段階評価、3年から6年は5段階評価とする。中学部は5段階評価とする。
- (3) 小学部5・6年生については、2月下旬に本校独自の実力テストを行う。通知は個票をもって行う。

⑥ 定期考査について (中学部)

定期考査は、次の通り実施する。

第1学期	中間考査	5月中旬
	期末考査	6月下旬もしくは7月上旬
第2学期	中間考査	9月中旬～下旬
	期末考査	11月上旬(9年:学年末考査) / 11月下旬(7・8年)
第3学期	学年末考査	2月下旬～3月上旬(7・8年)

※ 音楽・美術・家庭科のテストは、言語力により2種類の形式で出題する。

3 長期休業について

長期休業は以下の期間とする。

夏季休業	7月15日前後～8月末
冬季休業	12月15日前後～1月7日前後
春季休業	3月20日前後～4月7日前後

※ 詳しい日程は、年間行事予定表を参照してください。

III. 保護者の皆様へ

1 本校ウェブサイト 保護者管理画面

- ・操作マニュアルを確認してください。
- ・ログインIDとパスワードを大切に保管してください。
- ・連絡先に変更が生じた際には、プロフィール画面のアップデートを行い、学校にご連絡ください。
- ・園児・児童・生徒の顔写真は毎年4月にアップデートしてください。
- ・お手紙の配信、インボイスやレシートが発行される際には、Eメールやテキストでの配信で知ることができます。その知らせが届いた際には、アカウントにログインして内容を確認してください。

2 授業料・教材費納入方法

- ① 登録料、授業料、教育施設充実費、兄弟姉妹の割引については「授業料等 費用一覧」をご参照ください。事務室にて準備しております。
- ② 授業料は8月を含む、年に12回の月払いとなります。
- ③ 学年途中で編入園・編入学した場合は、その月の授業料および教育施設充実費は、在籍日数により日割り計算し、編入園・編入学前に徴収します。また、退園、退学をする際は、退園・退学する前の月の15日までに退園退学届けを事務室に提出した場合のみ、退園・退学する月の授業料および教育施設充実費を日割り計算し、徴収します。ただし、3月、4月、7月、12月、1月の日割り計算は行いません。一度納入された授業料および教育施設充実費、登録料は、いかなる理由があっても、返却できません。
- ④ 長期休学をする場合は、休学をする前の月の15日までに休学届けを事務室に提出してください。1ヶ月単位（月初めから月末まで）で休学する場合のみ、授業料および教育施設充実費を半額とします。ただし、夏、冬、春の長期休暇にかかるため、3月、7月、12月は対象外の月となります。8月は休学扱いにできません。
- ⑤ 中学部3年生は、12月末に仮卒業証書授与式を行いますが、3月末まで本校に在籍するため、1月から3月までは、授業料および教育施設充実費が半額徴収になります。
- ⑥ 年長組・小学部6年生は、3月末まで在籍しますので、3月は日割り計算となりません。
- ⑦ 教材費は、毎月実費を徴収します。徴収額は、毎月の授業料の請求とあわせてお知らせします。教材費には、模擬試験代、学外行事の費用（遠足、キャンプやユタ州ホームステイプログラム（中学部と小学部5・6年生）などが含まれます。
- ⑧ 幼稚園の副教材費として毎月10ドル徴収し、主に幼稚園教材（折り紙・絵の具・のり等の消耗品）を全クラスで揃えます。途中退園する場合の、副教材費残金の返却はできません。
- ⑨ 在園児・在校生より、卒業生への記念品を贈るために、卒業記念品代を年に一度、在園児（プレ年少～年中組）、在校生（1～5年、7・8年）より徴収します。
- ⑩ 授業料、教育施設充実費、入学金、登録料、兄弟割引は三年に一度改訂されます。
- ⑪ 自動引き落としが残高不足などで出来なかった場合は、銀行から請求される手数料30ドルを加算します。又、チェックでの支払いを希望する場合は、月10ドルの手数料を授業料に加算します。

3 制服について

❖ 制服の趣旨

本学園では、「探究・誠実・気迫」の校訓の下、生活実践目標として、「場を清め、時を守り、礼を正す」を掲げ、学校生活を送っている。学びの場でのけじめをつけ、学校教育活動を促進・充実させ、自主自立する子どもたちの育成をねらって2015年度より制服着用実施することとする。また制服の収益金の一部がNACに寄付されることで、教材等備品の購入に充てる。

❖ 学校指定制服一覧表

	男子全学年共通	幼～2年生女子	3年～中3女子
必須アイテム	半袖ロゴ付白ポロシャツ (Child S/M/L \$ 19)	ロゴ付白セーラーブラウス (Child S/M/L \$ 27)又は 半袖ロゴ付白ポロシャツ (Child S/M/L \$ 19)	ロゴ付白セーラーブラウス (Child S/M/L \$ 27)又は 半袖ロゴ付白ポロシャツ (Child S/M/L \$ 19)

必須 アイテム	紺色長ズボン (Child S \$ 20~M/L \$ 27)又は 紺色半ズボン (Child S \$ 17~M/L \$ 24)	ジャンパースカート (Child S/M \$ 40)	プリーツスカート (Child S/M/L \$ 40)又は 紺色キュロット (Child S/M/L \$ 28)
希望 アイテム	長袖ロゴ付白ポロシャツ(Child S/M/L \$ 23) 女子用 バイクショート(Child S/M/L \$ 13) NACパーカー (前ジッパー) ロゴ付 (Child S/M/L \$ 30) NACカーディガン (前ボタン) ロゴ付 (Child S/M/L \$ 35) 幼のみ サイズSの通園リュックサック ロゴ付 \$ 38) 女子用 各種ヘアアクセサリ(\$ 5~\$ 9)		

❖ ユニフォーム取り扱い会社

Norman's Uniform 371 W 6th St, San Pedro, CA 90731 (310)832-8342 <http://www.normansuniforms.com>

制服購入方法とお手入れ

❖ 店頭で直接購入 371 W 6th St, San Pedro, CA 90731

電話オーダー (310)832-8342

FAXオーダー (310) 832-1410

オンラインオーダー

①ノーマンズユニフォームのウェブサイトへアクセス (www.normansuniforms.com)

②本学園のアカウント番号を入力してオンラインオーダーページへジャンプ

③希望する商品の希望枚数を選択して購入

※電話・FAX・オンラインオーダーの場合は送料が別途かかります(\$ 9)

❖ 制服申込フォーム・・・本校ウェブサイト保護者ページにIDとパスワードでログインし、画面左の「書類ダウンロード」内の制服申込フォームをプリントアウトしてご利用ください。

❖ サイズについて・・・本校事務に各サイズを取りそろえておりますのでサイズ確認希望の方は事務までお問い合わせ下さい。

❖ 中古制服リサイクルシステム

・着用1年以内の制服については学校が制服を半額で買い受ける。

・2015年度の1学期転出出生については、ズボンスカートは6割にて学校が買い受ける。

・2015年4月から2年生になる女兒については、3年生進級時に学校がジャンパースカートを半額で買い受ける。

・中古制服も学校事務で販売する。

・中古制服はクリーニングのこと

❖ お手入れ方法

布がパーマメントプレスで非常に丈夫な素材のため、家庭用洗濯機・乾燥機の利用が可能。プリーツも残り、アイロンも不要。

4 学校保険について

本学園では、教育活動中の事故、ケガに対して学校医療保険に加入しています。この保険は、事故やケガをした時に、各家庭で加入している保険を利用した際の個人負担分を支払いの対象としています。ただし、すべてのケースについて、保険会社が独自に調査を行い、保険の適用を決定することになっています。

5 病気事故等緊急処置について

- ① 教育活動中に、園児・児童・生徒が、軽い怪我をしたり、気分が悪くなったりした場合、消毒・湿布など救急措置を行い(園児は水洗いのみ)、ベッドで安静にさせます。ただし、基本的に、学校では飲み薬を与えることはできません。なお、処方された薬を持参させる場合は、事前に文書で学級担任にお知らせください。

- ② 症状が重く、専門医の診断が必要とした場合は、保護者に連絡を取ります。連絡が取れない場合は、学校の判断で最適と思われる救急病院にお連れします。なお、緊急の場合の救急病院での治療同意書として、「緊急時個人資料/NAC Permission for Medical Care」に、必要事項を英語で記入し、編入園入学後約1週間以内に、事務室に提出してください。また、緊急に備えて、本人に適用される健康保険の写しを学校で保管いたしますので、併せてご提出ください。

6 予防接種について

カリフォルニア州の法律では、学校は、各個人の予防接種の状況を調査する義務があります。別紙調査用紙を編入後1週間以内に事務室までご提出下さい。定められた予防接種を受けておらず、学校より指摘された場合は、ホームドクターと相談し、出来るだけ早く接種し、完了した旨を書面にて、事務室に提出して下さい。

7 緊急災害時に備えて

緊急・災害時に備えて、エマージェンシーバッグをご用意ください。バッグはリュック型のものを使い、中に次のものをすべて入れてください。このバッグは、教室にまとめて置きますので、編入後1週間以内に、学級担任にお渡しください。

※エマージェンシーバッグの中身	
① 水（スポーツ飲料でも可） 2本	⑤ バンドエイド（大） 3枚
② グラノラバー（乾パン・ビスケット等） 適量（4本程度）	⑥ 名前と学年を書いた紙1枚 （バッグの中に入れ、字がよく見えるようにする）
③ タオル 1枚	⑦ 防寒用上着 1枚
④ ポケットティッシュ 2個	⑧ マスク 1個

8 届け出事項

下記の届け出は、ウェブサイトからフォームをダウンロード、または事務室にある用紙に記入し事務室に提出してください。

- (1) 退園・退学届 — 退学される月の前月の15日までに提出してください。
- (2) 旅行届 — 春、夏、冬の長期休業中に旅行をされる場合、緊急時の連絡先をお知らせください。
- (3) その他 — 休学届、公欠届、忌引届、学校感染症届出書

学校感染症の届け出について

下記の感染症にかかった場合は、学校への届け出を必要とし、学校保健安全法第19条等の定めにより、医師の許可があるまでは登校できないこと（出席停止）になります。また、登校には、主治医の許可が必要です。主治医の指示に従ってください。また、登校の際には、「学校感染症届出書」を担任に提出してください。なお、この場合の出席停止は、欠席扱いにはなりません。

〔学校感染症の種類と出席停止期間の参考基準〕

◎第一種（治癒するまで）

エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、重症急性呼吸器症候群、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎、ジフテリア、鳥インフルエンザ（H₅N₁）

◎第二種

インフルエンザ・・・解熱した後二日を経過するまで（鳥インフルエンザ（H₅N₁）を除く）

百日咳・・・特有の咳が消失するまで

麻疹・・・解熱した後三日を経過するまで

流行性耳下腺炎・・・耳下腺の腫脹が消失するまで

風疹・・・発疹が消失するまで

水痘・・・すべての発疹が痂皮化するまで

咽頭結膜熱・・・主要症状が消失した後二日を経過するまで

結核・・・感染のおそれなくなるまで

◎第三種（感染のおそれがないと認めるまで）

コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフスなど。流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎、その他の伝染病（ノロ・ロタ）。

9 証明書の発行について

証明書の発行は事務室にある証明書発行願いに記入し事務室に提出してください。在校生の証明書（成績証明書、在学証明書、推薦状、調査書）の発行はそれぞれ\$5徴収いたします。

※卒業生・退学生の発行料金は下記の通りになり、チェックでのお支払いになります。

成績証明書：\$15.00	推薦状：\$20.00
在学証明書：\$10.00	調査書：\$10.00

1 0 放課後の間食について（小学部・中学部）

放課後、補習授業が始まるまでの時間に間食を認めています。詳細は、学級担任と相談してください。ただし、ガム、あめ等は持たせないでください。

1 1 校内電話の使用について

本校には公衆電話が設置されておられません。従って、子どもが緊急に家庭に連絡を取る必要がある場合、事務室内にある電話を使用していただいても結構です。ただし、一回につき20¢必要ですので、後日20¢を子どもに持たせて下さい。

1 2 弁当について

本校では、昼食は持参していただきますが、希望制で昼食のケータリングサービスを受けることができます。以下の注意事項に従い申し込んでください。なお、飲料水またはお茶を必ず持参させてください。特に、暑い日や体育のある日は、多めに持たせてください。又、お箸（メニューによってはスプーン）を持参させてください。

- ① 弁当の配膳は、毎週月、水、金曜日に行います。
- ② 申し込み用紙は毎月初めの週に事務室前に用意いたします。
- ③ 申し込みの際は、申し込み用紙の指示に従い、マークシートに赤ペンで記入してください。
- ④ 支払いは授業料等とともに引き落としとなります。
- ⑤ 注文期間が締め切られた日からは、いかなる理由でも、取り消しや返金はできません。

1 3 事務局での教材販売について

ソプラノリコーダー・アルトリコーダー・ピアノのマウスピース・ハーモニカ・カスタネット・体操服（Tシャツ・ハーフパンツ）を販売しております。購入は保護者同伴でなくても結構です。精算は授業料徴収の際に、一緒にご請求いたします。Noticeの明細に表示されます。

1 4 駐車場進入時の諸注意

- ① 敷地内では、必ず徐行（時速5マイル以下）してください。
- ② 特に登下校時は、園児・児童・生徒の飛び出し等には気をつけてください。また、小さいお子様は、死角に入りやすいので、十分な配慮をしてください。
- ③ 駐車場内では、お子様だけで行動することのないよう、必ず保護者の方が常に付き添って乗り降りしてください。
- ④ 設置された横断歩道以外の場所で横断をしないように気をつけてください。

1 5 登下校について（小・中学部）

① 登校

- ・ 朝7時50分から登校可能です。
- ・ 朝7時50分～8時15分までの間、校舎東側の横断歩道脇にてドロップオフ登校を行います。（下図1）
- ・ 8時15分以降は、校舎東側駐車場をご利用ください。

② 下校（2015年度 緊急セキュリティ強化実施）

- ・ 下校は、原則として下記の通りに行います。行事等で下校時間が変更する場合は、あらかじめ学級通信やお手紙でお知らせしますので、ご注意ください。また、悪天候や災害のために緊急に下校時間を変更する場合は、学級の緊急連絡網を用いて連絡します。尚、外務省・総領事館の指針に合わせ、2015年度1学期は下記のような下校体制をとります。2学期以降については諸事情を考慮の上、下校体制について再度ご連絡いたします。
- ・ 放課後のグラウンド非開放を徹底します。これにより、園児・児童・生徒が学校敷地内で遊ぶことはできません。3時半以降、時間帯によっては校舎・グラウンド出入り口を施錠します。施錠時に御用の際は正門玄関にお回りください。

- ・ 月～木曜日は原則3回のドライブスルー下校を実施します。(図1)
3:20 ドライブスルー 4:20 ドライブスルー 5:20 ドライブスルー
- ・ 金曜日はロータリー下校を実施します。(図2)

図1：小中学部のドライブスルー登校下校

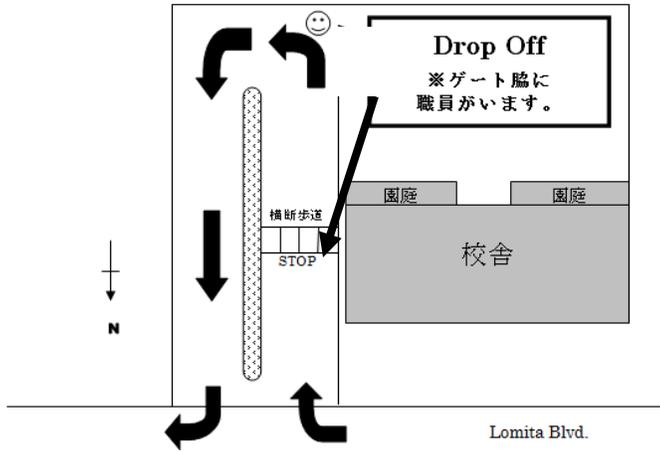
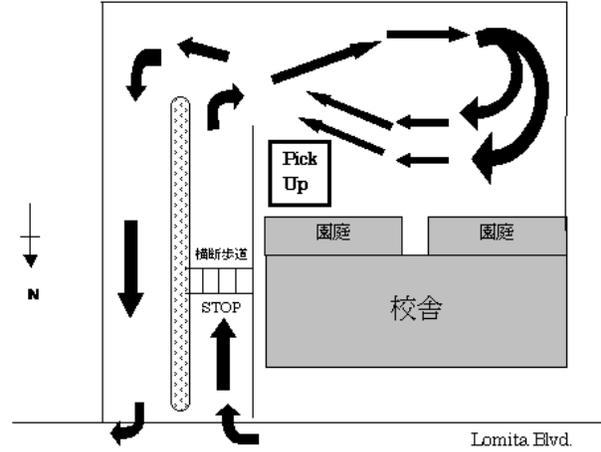


図2：一斉下校時ロータリー



*ロータリー形式は状況により小変更する場合があります。

※参考 児童生徒授業終了時刻表

通常	小学部	6限終了時 15:15	7限終了時 16:10	8限終了時 17:00
	中学部	7限終了時 16:20	8限終了時 17:15	9限終了時 18:10
中学部定期考査1週間前	小学部	通常通り		
	中学部	補習授業なし 16:20		
中学部定期考査中	小学部	補習授業なし 6限終了時 15:15	7限終了時 16:10	
	中学部	定期考査終了後下校		

1.6 降園・下校後の規定

- ① 放課後の園児・児童・生徒の監督は保護者が責任を持っておこなってください。
- ② 放課後に起きた全ての事故やトラブルに関して学校側は一切責任を負いません。
- ③ 駐車スペースが限られております。特にご用事のない場合は速やかに下校をお願いいたします。
- ④ 兄弟姉妹関係がないご家庭は、校舎内、教室に残ることは出来ません。
- ⑤ 兄妹がいる場合は、1時間以内であれば音楽室で待機することができます(園児は除く)。授業が終わりましたら、待機児と共にドライブスルーの場所まで移動します。1時間以上の下校時間の差がある場合は、いったん下校して再び上の兄妹をお迎えに来てください。
- ⑥ 幼稚園に関してはIV「附属幼稚園入園時・編入園児の保護者の皆様へ」(P15)の中の幼稚園へ入園される全保護者の皆様へご参照ください。

1.7 全体保護者会、二者/三者懇談会、学年別保護者会

全体保護者会は年間1回、懇談会は各学期末に行います。その他、学年別保護者会は各学期始めに行われる他、担任裁量で随時行われます。

1.8 オープンハウス(授業参観日)

保護者の方に、日頃の学習生活を見ていただくために、1学期と2学期に実施いたします。

1.9 チャイルド・アビューズのレポート義務について

本学園では、身体・精神・言葉面のいずれの虐待や放任・放棄も許さない方針を掲げています。法律により、園児・児童・生徒の中で、家庭での児童虐待の可能性が疑える症状が見られた場合、州の担当局へレポートの提出義務があります。

20 情報誌・ホームページ等への写真等の掲載について

本校の教育活動の様子をより理解していただくための広報活動の一環として、LAのコミュニティ雑誌や（主に「ライトハウス」誌）や、本校ホームページにて日頃の学校生活の様子を若干の画像や動画で公開しております。なお、園児・児童・生徒の写真・動画を掲載する際は、従来から画像サイズを小さくする、アップ写真は別途確認いただき許可をいただき、氏名と顔を一緒に載せないなどのさまざまな配慮をして、トラブルの発生を極力防いでおります。今後も本学園の発展、振興のために公開していく予定ですので子どもたちを撮影した写真や動画をホームページ等に掲載することについて、承諾いただきますようお願いいたします。ウェブサイトに掲載した内容は、学校関係者だけでなく、一般の人からも閲覧できる場合もあります。また、掲載後、特定の写真掲載の中止を希望される場合はご連絡ください。

21 緊急時の連絡先

学園長（携帯）310-748-1923 園長・事務長（携帯）310-748-8761

IV. 附属幼稚園入園児・編入園児の保護者の皆様へ

ご入園おめでとうございます。お子様は、はじめて親もとを離れ、学校という社会への第一歩を踏み出すことになりました。そこで、いろいろな経験を積みながら、次第に学校での生活を学んでいくこととなります。幼稚園といっても本学園では年齢差が1年以上もある場合がありますので、その子どもの生まれた月によって随分成長が異なります。私たち大人は、どうしても子どもを同一視してしまいます。同じ学級の中にも、誕生日によっての差があり、他にもいろいろな個人差があります。得手、不得手があったり、興味にむらがあったりするのはごく当たり前のことです。それを受け止め優しくほめ、励ましながら育てるのが一番です。

いままでのお子様は両親の保護のもとにおかれ、外からの色々な働きかけに直接さらされることなく成長してこられたことと思います。しかし、これからは幼稚園という、ひとつの社会を形成する中での生活になります。したがって、きちんとした社会ルールが必要になってきます。この社会ルールを幼い時にきちんとしつけていないと、子どもはわがままで、自分の主張だけ通し、他の友達のことを考えようとしなくなってしまいます。幼稚園に行く前まで、必要な社会ルールは守れるようにしておきましょう。また、健康は、家庭のしつけから始まります。手洗い、歯磨きから、食事、運動まで正しい生活習慣を身につけることは一生の健康につながります。幼児教育の大切なことは、これから成長していく社会の最も基本になることを、学習することにあります。幼児教育は知育教育だけではないのです。知・徳・体のバランスの取れた教育を行うことにあるのです。本園では楽しみながら学ぶことに主眼をおいていきたいと思っております。

幼稚園に入園したからといって、全部学園にまかせてばかりでは、子どもは育っていきません。常に、学園と家庭が協力しあってこそ、子どもは立派に成長していくものです。子どもは親の背中を見て育つと言われていた通り、親の行動、考えが子どもに大きく反映します。幼い子どもであればあるほど、その影響は大きいと考えざるをえません。21世紀に生きる子どもたちが学んでよかったと思う幼稚園でありたいと思っています。

○本園の教育の特色

1 幼児期における豊かな人格形成

人格形成に最も重要な幼児期に、心身共に健康でたくましい子に育てる。また、はじめと協調性を身につけるためのしつけ教育や豊かな感性を育てる情操教育を行う。

2 個々の可能性を引き出す就学前教育

就学前教育として、数あそび、ひらがな、カタカナ、習字、体育指導など様々な設定保育を通し、個々に持つ豊かな可能性を引き出し、意欲あふれる子どもを育てる。

3 たのしい英語教育

日本の文化習慣を十分に理解させた上で、生活の中に英語を取り入れながらバイカルチャー、バイリンガル教育を目指す。

1 入園までに行えるようになってほしいこと

規則正しい生活習慣は、一朝一夕でできるものではありません。生活時間をきちんと守る習慣を身につけさせましょう。基本的な生活習慣（起床・洗顔・排泄など）は、家庭での大切なしつけです。気長にしつけていきましょう。

○ 学園から指導する幼稚園児の一日

- 1 元気におはよう。
- 2 いただきます。朝食は必ず食べよう。
- 3 食事の後は歯をきれいに。

- 4 いってまいります。きょうの準備はきちんとできているかな。
- 5 車の乗り降りに気をつけて。
- 6 先生おはようございます。はっきりあいさつ。
- 7 お弁当はだいたい45分で食べられるように。
- 8 体操着にきがえることもあります。もう一人でお着替えできるかな。
- 9 トイレは一人でできるかな。
- 10 降園準備
- 11 先生さようなら。またあした。
- 12 ただいま。
- 13 今日あったことをお話ししましょう。
- 14 よふかししないでお休みなさい。

2 身につけさせたい生活習慣

① あいさつと返事

朝、「いってきます」帰ったら「ただいま」をいえるようにしましょう。また、朝、先生や友達にあったら「おはようございます」。名前をよばれたら「はい」と返事ができるように。朝晩、家庭での挨拶を身につければ、学校でも自然にできるようになります。

② 思ったことをはっきり言えるように

お腹がいたい、気持ちが悪い時、粗そうをしてしまった時、自分で言えるようにしたいものです。ふだんの生活で、お母さんが先手をとってあれこれ聞きすぎると、受け身の態度が身についてしまって、自分から意思を表現や説明のできない子どもになってしまうケースがよくあります。普段から子どもの話をよく聞くようにしてうまく話を引き出してやりましょう。少しずつ、はっきり内容を持った話が出来るようになります。

③ 自分の名前が書ける？読める？

ひらがなで自分の名前が書けるように練習しておきましょう。両親の姓名、自宅の電話番号もはっきり言えるようにしておくこと、なおよいでしょう。

④ 物を大切に

日本では鉛筆や消しゴムなどを粗末にあつかう子どもが目立ちます。短時間できちんと片付けることができるように、最初は手伝ってあげながらコツを教えましょう。家の中では誰のものかすぐにわかりますが、園ではそうはいきません。同じお道具を友達も持っているかもしれません。名前をきちんと書いておかないと混乱してしまいます。親子でいっしょに書いて、どこにどう書いてあるのか、分からせておくことも大切です。

⑤ 早寝、早起き

朝寝坊の宵張りでは、昼間の生活に差し支えがでできます。遅刻しそうなになれば、焦って忘れ物も多くなりがちです。休む時間をきめておくことよいでしょう。

⑥ 手洗い

手を洗うことは病気にならないためにも大切です。外出から帰ったら必ず手を洗う習慣をつけさせたいものです。

⑦ 食事・おやつ

朝食は必ずとりましょう。だらだら食べたり、テレビを見ながらの食事は、もうやめましょう。食事の時に一日の出来事を話し合う時間にして、楽しい食事にしましょう。おやつも、量と時間をきめて、だらだら食べないようにしましょう。

⑧ 左きき

左ききの子どもは日本でも学級に2・3人いることがよくあります。特に心配することはありません。文字は本来右きき用にできていますから、確かに左手では書きにくいのですが、無理に右手で書かせると、かえって遊びや生活が消極的になってしまう心配があります。様子によっては、左右両方とも使えるように指導してください。

⑨ 病気や事故に気をつけて

親の手元から離れて、家の外での生活が多くなります。健康で調子の良い時、子どもの心身の状態を日頃からつかんでおきましょう。そうすればちょっとした変化にもすぐに気がつきます。

⑩ トイレの使用について

特に大便をした時、水を流すことや、トイレットペーパーの使い方、服を全部ぬがないでも使用できるやり方などトイレの仕方をしっかり身につけさせておいてください。

3 入園にあたって用意するもの

プレ年少組

- ・通園用リュックサック・ハンカチ・ティッシュ・ハンドタオル・お弁当・水筒（お茶か水を入れ、パックジュースなどは避けて下さい。）・エプロン（食食用）・お昼寝用パジャマ（3学期から）・お昼寝用タオルケット・お昼寝用コットシート・上靴（ひも靴以外で、履き替えやすいもの）・上靴袋・歯磨きセット（歯ブラシ プラスチックコップ）・お持ち帰り用かばん（お昼寝用セットや体操服、作品などを持ち帰りできるように大きめのもの）・着替え（パンツ2枚・靴下2足・体操服1セット）・スモック・保管用ペットボトルの水2本・エマージェンシーバッグ（中身は9ページ目の説明と同じものになります。子どもが自分で担げるようリュック型のものご用意下さい。）

年少組

- ・通園用リュックサック・ハンカチ・ティッシュ・ハンドタオル・お弁当・水筒（お茶か水を入れ、パックジュースなどは避けて下さい。）・エプロン（食食用）・お昼寝用パジャマ（ボタン付きのもの）・お昼寝用タオルケット・お昼寝用コットシート・上靴（ひも靴以外で、履き替えやすいもの）・上靴袋・歯磨きセット（歯ブラシ プラスチックコップ）・お持ち帰り用かばん（お昼寝用セットや体操服、絵本、作品などを持ち帰りできるように大きめのもの）・着替え（パンツ2枚・靴下2足・上着・体操服1セット）・お道具箱／レターサイズがすっぽり入るクリアーな箱（粘土・粘土板・粘土へらセット・クレヨン・色鉛筆（12色程度）・指でつけるタイプののり・お絵かき帳・はさみ・筆箱（2B鉛筆1～2本・消しゴム）・スモック・保管用ペットボトルの水2本・エマージェンシーバッグ（中身は9ページ目の説明と同じものになります。子どもが自分で担げるようリュック型のものご用意下さい。）

年中・年長組

- ・通園用リュックサック・ハンカチ・ティッシュ・ハンドタオル・お弁当・水筒（お茶か水を入れ、パックジュースなどは避けて下さい。）・お昼寝用コットシート・お昼寝用タオルケット（年中1学期のみ）・上靴（ひも靴以外で、履き替えやすいもの）・上靴袋・歯磨きセット（歯ブラシ 歯磨き粉 プラスチックコップ）・お持ち帰り用かばん（お昼寝用セットや体操服、絵本、作品などを持ち帰りできるように大きめのもの）・着替え（パンツ2枚・靴下2足・上着・体操服1セット）・お道具箱／レターサイズがすっぽり入るクリアーな箱（粘土・粘土板・粘土へらセット・クレヨン・色鉛筆（12色程度）・指でつけるタイプののり・お絵かき帳・はさみ・筆箱（2B鉛筆1～2本・消しゴム）・スモック・保管用ペットボトルの水2本・エマージェンシーバッグ（中身は9ページ目の説明と同じものになります。子どもが自分で担げるようリュック型のものご用意下さい。）

幼稚園で販売するもの

- ・連絡帳・シール帳・シール帳のシール・カラー帽子・体操服（上・下）・お昼寝用コットシート・ひらがな／カタカナ／数のワークブック（年少組～年長組）

4 トイレトレーニングについて

プレ年少組ならびに年少組ではおむつが外れていない園児には教師がおむつ交換とトイレトレーニングの援助も行います。（別途費用がかかります。）

5 お昼寝について

プレ年少ならびに年少組は、昼食後にお昼寝をとります。お昼寝用コット（簡易ベッド）に専用シートをひいてタオルケット（冬場は毛布）をかけて眠ります。年少以上では、入眠の習慣づけのためにも、パジャマに着替える練習も行います。指先の練習にも良いので年少組はボタンがついたものをお勧めします。又、年中組の1学期間は、昼食後静かに横になって休憩することとします。

6 お弁当について

基本は栄養バランスのよいお弁当を持ってきて下さい。また、月・水・金の注文弁当システムの利用ご希望の方は、申込手続を前月の締切日までに正面事務室前にてお手続きください。

7 おやつについて

食物アレルギーなどを考慮して、お子さんの食べるおやつは各自ご家庭からご用意いただきます。お友達同士のおやつの交換はいたしません。ただし、午前中のおやつとして最適な、昼食にひびかない程度の量で、チョコレート菓子や、キャンデー類を避けたものをお持ち下さい。（フルーツをお勧めします）

8 病気の園児の自宅療養について

学校内で風邪や病気と見られる症状が出た場合、保護者の方に連絡をし、自宅で療養することとします。保護者のお迎えがあるまでは、別室にて安静にして休ませておきます。登園前に以下の症状が見られた場合は、他の園児への感染を防ぐためにも、幼稚園を欠席させて下さい。伝染病の場合も、医師の許可があるまで自宅で療養させて下さい。

- * 100度（F）以上の発熱があると同時に、下痢やのど、耳の痛みや発疹がある場合
- * 24時間以内に2回以上の嘔吐が確認された場合
- * 24時間以内に3回以上の水様便が確認された場合

9 サインイン・アウトについて

州の保健局の定めにより、プレ年少組・年少組・年中組の保護者の登園、降園時は保護者のサインが必要です。また、保護者以外の方に代理で送迎を依頼する場合は、必ず事前に事務局で手続きを行って下さい。尚、デイケアをご利用の方も同様にサインイン・アウトが義務付けられています。

10 園児の送迎について

登園

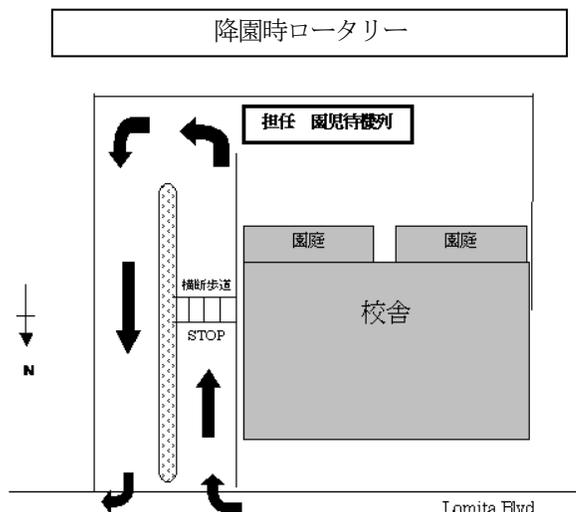
- ・全幼稚園児の朝の見送り時については、車を一旦駐車し、保護者が必ず手をつないで教室まで登園させることとします。
- ・希望者の方は、毎朝8時30分から園庭解放時間として、かばんを所定の位置に置いた後、自由に園庭遊びができます。（プレ年少組を除く）
- ・園庭遊びを希望されない場合は、登園時間の9時まで全員登園させて下さい。
- ・小学校・中学校に兄弟が在籍する場合のみ、8時から8時30分にお預かりいたします。

降園

- ・幼稚園の降園方法は、原則校舎東側駐車場Uカーブ利用のドライブスルー方式を用います。但し、プレ年少組のみ、園児の状況を考慮して、徒歩お迎えからドライブスルーに徐々に移行いたします。
- ・ドライブスルー方式の際には、担任が子供たちを所定の位置に並ばせます。順番が来ましたら、担任が各車に園児を順次乗せて行きます。カーシートのベルト装着も補助します。（上に兄弟のいる園児や、デイケア利用の園児等を除く）安全のために、できるだけ助手席の後ろにカーシートを設置してください。

	朝の園庭解放	登園時間	降園時間	お迎えの場所
プレ年少組	なし	9時	15時00分	東側駐車場Uカーブ利用のドライブスルー形式にて ※ 但し、プレ年少組のみ、園児が慣れるまでは教室前にて引き渡し
年少組	8時30分 から	9時	15時00分	
年中組	8時30分 から	9時	15時 <u>25</u> 分	
年長組	8時30分 から	9時	15時 <u>35</u> 分	

※降園時間は厳守して下さい。降園後10分以内に駐車場より退出して下さい。



1 1 スケジュール

プレ年少	年少	年中	年長
9:00 登園 朝の支度	9:00 登園 朝の支度	9:00 登園 朝の支度	9:00 登園 朝の支度
9:30 朝の会 (歌・絵本)	9:30 朝の会 (歌・絵本)	9:15 朝の会 (歌・絵本)	朝の会
9:45 おやつ	9:45 おやつ	9:30 戸外遊び	9:10 英語で遊ぼう
10:15 戸外遊び	10:15 設定保育	10:40 設定保育	9:50 歌・絵本
10:45 設定保育	11:15 戸外遊び	11:50 昼食	10:15 設定保育
11:15 室内遊び 帰りの支度	11:45 昼食	12:30 休憩 (1学期) 自由遊び (2学期以降)	11:30 設定保育
[12:00 降園 (1学期・希望者のみ)] ※教室にて引き渡し	13:00 お昼寝	(室内または戸外)	12:15 昼食
11:30 昼食	14:15 起床 帰りの支度	13:30 設定保育	12:50 自由遊び (室内または戸外)
12:50 お昼寝	帰りの会	14:30 おやつ	13:30 設定保育
14:10 起床 帰りの支度 帰りの会	15:00 降園 ※ドライブスルーにて	15:00 帰りの支度 帰りの会	14:30 おやつ
15:00 降園 ※徒歩/ドライブスルー ※週1日、英語で遊ぼう (30分間)		15:25 降園 ※ドライブスルーにて	15:00 帰りの支度 帰りの会
	※週4日、英語で遊ぼう (30分間)	※1学期のみお昼寝があります。 ※週4日、英語で遊ぼう (30分間)	15:35 降園 ※ドライブスルーにて
			※週4日、英語で遊ぼう (40分間)

※毎週1回ずつ、専科の体育、ダンスのクラスが年中～年長であります。

V. 1年生に入学する皆さんへ

ご入学おめでとうございます。お子様は小学校社会という大きな海への航海に漕ぎだしていくことになります。そして、経験を積みながら、次第に小学校社会の一員として育っていきます。

小学校では本格的な勉強が始まり、友達との集団生活も始まります。学業成績もご両親の気にかかるところかと思えます。しかし、人はみな個人差があります。得手、不得手があったり、興味にむらがあったりするのをごく当たり前のことで、それを受け止め優しくほめ、励ましながら育てるのが一番です。健康は家庭のしつけから始まります。手洗い、歯磨きから、食事、運動まで正しい生活習慣を身につけることは一生の健康につながります。これからは本校教職員も、お子様の心身の健康について指導にあたることとなります。

日本を離れた異境の地での教育は、すべてが日本と同様とはいかない面もありますが、教職員一丸となりまして、お子様の教育に心身を注ぎたいと思っております。

1 入学前にできるようになってほしいこと

最近では、ほとんどの子どもが保育所や幼稚園に通っているため、起床、洗顔、排泄のリズムはおおむね身につけているでしょう。しかし、小学生になると毎日の生活はかなり変わってきます。規則正しい生活習慣は、一朝一夕でできるものではありませんので、生活時間をきちんと守る習慣を身につけさせましょう。

○ 学校から指導する一年生的一天

- 元気におはよう。ひとりで着替えができるかな。
- いただきます。朝食は必ず食べよう。
- 食事の後は歯をきれいに。
- 行ってまいりますと言えるかな。今日の準備がきちんとできているかな。
- 車の乗り降り気をつけて。
- 先生おはようございます。はっきりごあいさつ。
- 授業は45分間です。がんばろうね。
- お弁当はだいたい30分で食べられるように。
- 体操着にきがえることもあります。きがえは10分程度でできるかな。
- トイレは10分の休み時間に。まにあうかな。
- 下校時間。忘れ物がないようにカバンにいれられるかな。
- 先生さようなら。またあした。
- ただいま。きょうあったことをお家の人にお話できるかな。
- 明日の時間割は？わすれものはないかな？
- よふかししないでやすみなさい。

2 入学にあたって用意するもの

算数セット、下敷き、筆箱、鉛筆（2B5本）、消しゴム（においの出るものや玩具などのキャラクター消しゴムはさける）、赤鉛筆（1本）、手紙入れ用ファイル、道具箱〔のり・はさみ・セロテープ・色鉛筆・クレヨン・名前マジックペン〕、絵の具セット〔絵の具・絵筆（大中小）・パレット・絵の具の筆あらいバケツ・絵の具用ぞうきん〕、習字道具〔墨汁・半紙・水差し・ぶんちん・下敷き・筆（大小）・硯〕、体操袋〔体操着・運動に適する帽子〕、音楽セット用袋〔ハーモニカ（学校でも販売します）・カスタネット（学校でも販売します）・ピアノカ（学校の備え付けのものを貸し出しますが、マウスピースのみ事務室で購入していただきます）〕、食事の時に敷く布巾、かばん（ランドセルでなくてもかまいません。使用しやすいものを用意してください）、ELD用バッグ、Emergency Bag（幼稚園で使っていたものでよい）、ぞうきん（そうじ用5枚）、図工用古着Tシャツ

3 学校生活について

① 英語関連の授業について

(1) ELD

日本の学校の時間割にないものにELDがあります。これは小学1年生から、アメリカ人教師による実用英語を週4時間受講し、生きた英語に触れさせる中で、真の英語力を育成することに目的があります。ELDは習熟の度合いに応じたグループ分け指導により、個々の児童の英語力の向上を図っています。また、児童の英語力の伸長度ををはかるためにLASテスト（Language Assessment Scales）を実施します。

(2) イマージョン

図工と音楽の授業は英語で行われます。英語での指示を理解し、自分のアイデアを英語で表現することや、英語での適切な発音、情景の理解を学びます。

(3) 英語検定学習

2015年度は、1月に実施される英検第3回を本校（準会場）で行います。5級から2級までの児童生徒の受験が可能です。また、本年度の英検学習は「月曜英検」と「朝単活動」を行います。「月曜英検の時間(旧ELDの月曜時間)」では、「リスニング・文法・リーディング・インタビュー・エッセイ」という技能別の内容を順番に学習することで、バランスの取れたコミュニケーション能力を育成します。「試験事前学習」を各学期1回ずつ行い、実際の試験の受けかたも学習します。また、「朝単活動の時間(8:20~8:30)」では、単語を日本語・英語で発音したり読んだり書いたりする活動を通して、語彙の定着をはかり、英語を活用する基礎力を育成します。どちらの学習も受験級の内容を学び、「総合的な時間」扱いと

し、評価は行いませんが、「月曜英検の時間」で行うリスニング演習と模試演習のデータは1学期に1回集計し、英語力を検証することとします。

② 小学校教育で注意していきたいこと

(1) 物を大切に

日本では鉛筆や消しゴムなどを粗末にあつかう子どもが目立ちます。小学校ではこまごまとした学用品が沢山そろいます。家の中では誰のものかすぐにはわかりませんが、学校ではそうはいきません。同じ教材や似通った学用品を友達も持っています。名前をきちんと書いておかないと混乱してしまいます。きちんと記名するようにしてください。 unnecessaryなものは学校にか持ってこないように。また、金銭の貸し借りは禁止しています。もし、学校での紛失・盗難・拾得があれば、学級担任に届けるようにしてください。

(2) 早寝、早起き

朝寝坊の宵っ張りでは、昼間の生活に差し支えがでできます。遅刻しそうなになれば、焦って忘れ物も多くなりがちです。休む時間をきめておくといいでしょう。

(3) 手洗い

手を洗うことは病気になるためにも大切です。外出から帰ったら必ず手を洗う習慣をつけさせたいものです。

(4) 食事・おやつ

だらだら食べたり、テレビを見ながらの食事は、やめましょう。食事の一時を一日の出来事を話し合う時間にして、楽しい食事にしましょう。おやつも、量と時間をきめて、だらだら食べないように。本校では全学年毎日お弁当が必要です。お弁当やお茶など忘れないようにしてください。体育のある日は少し多めに花茶や水を持たせてください。

(5) 病気や事故に気をつけて

親の手元から離れて、家の外での生活が多くなります。健康で調子の良い時の子どもの心身状態を日頃からつかんでおきましょう。そうすればちょっとした変化にもすぐに気がつきます。原則としてお子様が学校で病気になる場合、学校へ迎えにきていただきます。学校登校時に身体の調子がおかしいと思われたら、連絡がきちんと出来るようにしておいてください。

(6) みんな仲良く

けんかをしないで、みんな仲良くすることが大切です。「いじめ」などがないようにするためにも、他の人の身になって考えたり、行動したりすることが必要です。楽しい学校生活を送るためにも、おもしろいやりをもって生活しましょう。

VI 小学部に編入学する皆さんへ

日本では、児童数が減少してきていますが、私立や国立の小学校への入学希望者は、年々多くなっているのが実情です。また、私立の小学校に多く設けられている帰国子女受け入れ学校に進学できたとしても、日本の教育をしっかり受けていなければ、入学後の学習になかなかおいついていけない子どもが多くなっている現実があります。本校では、日本人としての生活習慣、学習をしっかり身につけさせ、帰国後だけでなく将来にも安心できる人づくりを行ってまいります。

編入されると直ぐに本格的な勉強が始まり、友達との集団生活も始まります。学業成績もご両親の気にかかるころかと思えます。しかし、人はみな個人差があります。得手、不得手があったり、興味にむらがあったりするのはごく当たり前のことですから、それを受け止め励ましながら、その子その子にあった教育を行ってまいります。

異国での学校生活で一番注意することは身の安全です。特に健康のために、正しい生活習慣を身につけることは一生の健康につながります。

日本を離れた異境の地での学習は、すべてが日本と同様とはいかない面もありますが、教職員一丸となりまして、お子様の教育に心身を注ぎたいと思っております。

1 身につけたい生活習慣

① あいさつと返事

朝、「いってきます」帰ったら「ただいま」を言えるようにしましょう。また、朝、先生や友達にあったら「おはようございます」。名前をよばれたら「はい」と返事ができるように。親の後ろ姿を見て子は育ちます。先生やお兄さん・お姉さんへのことばづかいに注意しましょう。

② 思ったことをはっきり言えるように

お腹がいたい、気持ちが悪い時、粗そうをしてしまった時、自分で言えるようにしたいものです。普段の生活でお母さんが先手をとってあれこれ聞きすぎると受け身の態度が身につけてしまっていて、自分から意思を表現したり説明できない子どもになってしまうケースがよくあります。普段から子どもの話をよく聞くようにして、うまく話を引き出してやりましょう。少しずつ、はっきりした内容を持った話が出来るようになります。また、言葉遣いは、はきはきと明確にし、粗野にながれないように普段から注意しておきましょう。

③ 物を大切に

日本では鉛筆や消しゴムなどを粗末にあつかう子どもが目立ちます。小学校ではこまごまとした学用品が 沢山そろいます。家の中では誰のものかすぐにわかりますが、学校ではそうはいきません。同じ教材や似通った学用品を友達も持っています。名前をきちんと書いておかないと混乱してしまいます。きちんと記名するようにしてください。不必要なものは学校には持ってこないように。また、金銭の貸し借りは禁止しています。もし、学校での紛失・盗難・拾得があれば、学級担任に届けるようにしてください。

④ 早寝、早起き

朝寝坊の宵っ張りでは、昼間の生活に差し支えがでてきます。遅刻しそうになれば、焦って忘れ物も多くなりがちです。休む時間をきめておくとい良いでしょう。

⑤ 手洗い

手を洗うことは病気になるためにも大切です。外出から帰ったら必ず手を洗う習慣をつけさせたいものです。

⑥ 食事とおやつ

だらだら食べたり、テレビを見ながらの食事は、やめましょう。食事の一時を一日の出来事を話し合う時間にして、楽しい食事にしましょう。おやつも、量と時間をきめて、だらだら食べないように。本校では毎日全学年お弁当が必要です。お弁当やお茶など忘れないようにしてください。体育のある日は少し多めにお茶や水を持たせてください。

⑦ 病気や事故に気をつけて

親の手元から離れて、家の外での生活が多くなります。健康で調子の良い時の子どもの心身状態を日頃からつかんでおきましょう。そうすればちょっとした変化にもすぐに気がつきます。原則としてお子様が学校で病気になられた場合、学校へ迎えに来ていただきます。学校登校時に体の調子がおかしいと思われたら、連絡がきちんと出来るようにしておいてください。

⑧ みんな仲良く

けんかをしないで、みんな仲良くすることが大切です。「いじめ」などが無いようにするためにも、他の人の身になって考えたり、行動したりすることが必要です。楽しい学校生活を送るためにも、暴力による解決策はしないようにしたいものです。

2 編入学にあたって用意するもの

原則として、今まで前の学校で使用していたものすべてが必要です。ほとんどのものはアメリカの日系スーパーなどで手に入れることができますが、なかには手に入りにくいものもあります。日本から編入される方は、できたら用意して来られたらよいと思います。特に学年にあった辞書や辞典、計器類は必ずご用意ください。

◎ 2年生

下敷き、ふでばこ、鉛筆 (B 5本)、消しゴム (においの出るものや玩具などのキャラクター消しゴムはさける)、赤鉛筆 (1本)、15センチくらいの定規、三角定規、30センチ定規 (竹製が望ましい)、道具箱 [のり・はさみ・セロテープ・色鉛筆・クレパス]、連絡帳、絵の具セット [絵の具・絵筆 (大中小)・パレット・絵の具の筆あらいバケツ・絵の具用雑巾]、習字道具 (墨汁・半紙・習字用雑巾・太筆・細筆・下敷き・文鎮・硯・新聞)、鍵盤ハーモニカ (学校の備え付けのものを貸し出しますが、マウスピースを事務室で購入していただきます。)、カスタネット、図工用古着Tシャツ

◎ 3年生

連絡帳、算数・理科・社会ノート (5mm方眼ノート)、下敷き、ふでばこ、鉛筆 (B 4本と 2B 2本)、消しゴム、赤鉛筆 (1本)、15センチの定規・道具箱 (コンパス・三角定規・30センチ定規・のり・はさみ・セロテープ・色鉛筆・そろばん)、絵の具セット [絵の具・絵筆 (大中小)・パレット・絵の具の筆あらいバケツ・絵の具用雑巾]、習字道具 (墨汁・半紙・習字用雑巾・太筆・細筆・下敷き・文鎮・硯・新聞)、ソプラノリコーダー (学校でも販売しています)、鍵盤ハーモニカ (ない場合は学校の備え付けのものを貸し出しますが、マウスピースは事務室で購入していただきます)、国語辞典、図工用古着Tシャツ

◎ 4年生

連絡帳、理科・社会ノート（5mm方眼ノート）、下敷き、ふでばこ、鉛筆（HB）、消しゴム、赤鉛筆（1本）、15センチくらいの定規、三角定規、分度器、30センチ定規、コンパス、のり、はさみ、セロテープ、色鉛筆、絵の具セット〔絵の具・絵筆（大中小）・パレット・絵の具の筆あらいバケツ・絵の具用雑巾〕、彫刻刀セット、習字道具（墨汁・半紙・習字用雑巾・太筆・細筆・下敷き・文鎮・硯・新聞）、ソプラノリコーダー（学校でも販売しています）、鍵盤ハーモニカ（学校の備え付けのものを貸し出しますが、マウスピースを事務室で購入していただきます）、そろばん、国語辞典、漢和辞典、その他学習に参考になる辞書や辞典、図工用古着Tシャツ

◎ 5年生・6年生

連絡帳、下敷き、ふでばこ、鉛筆（HB）、消しゴム、15センチくらいの定規、三角定規、30センチ定規、分度器、コンパス、のり、はさみ、セロテープ、色鉛筆、彫刻刀セット、絵の具セット〔アクリル絵の具・絵筆（大中小）・パレット・絵の具の筆あらいバケツ・絵の具用雑巾〕、（さいほうセット）、習字道具（墨汁・半紙・習字用雑巾・太筆・細筆・下敷き・文鎮・硯・新聞）、ソプラノリコーダー（学校でも販売しています）、国語辞典、漢和辞典、その他学習に参考になる辞書や辞典、図工用古着Tシャツ

◎ その他

- ・食事の時に敷く布巾、ハンカチ、ティッシュ
- ・教科書の入れ物は、ランドセルでなくともかまいません。使用しやすいものをお選びください。

3 学校生活について

① 英語関連の授業について

(1) ELD

日本の学校の時間割にないものにELDがあります。これは小学1年生から、アメリカ人教師による実用英語を週4時間受講し、生きた英語に触れさせる中で、真の英語力を育成することに目的があります。ELDは習熟の度合いに応じたグループ分け指導により、個々の児童の英語力の向上を図っています。また、児童の英語力の伸長度ををはかるためにLASテスト（Language Assessment Scales）を実施します。

(2) イマージョン

図工と音楽の授業は英語で行われます。英語での指示を理解し、自分のアイデアを英語で表現することや、英語での適切な発音、情景の理解を学びます。

(3) 英語検定学習

2015年度は、1月に実施される英検第3回を本校（準会場）で行います。5級から2級までの児童生徒の受験が可能です。また、本年度の英検学習は「月曜英検」と「朝単活動」を行います。「月曜英検の時間(旧ELDの月曜時間)」では、「リスニング・文法・リーディング・インタビュー・エッセイ」という技能別の内容を順番に学習することで、バランスの取れたコミュニケーション能力を育成します。「試験事前学習」を各学期1回ずつ行い、実際の試験の受けかたも学習します。また、「朝単活動の時間(8:20~8:30)」では、単語を日本語・英語で発音したり読んだり書いたりする活動を通して、語彙の定着をはかり、英語を活用する基礎力を育成します。どちらの学習も受験級の内容を学び、「総合的な時間」扱いとし、評価は行いませんが、「月曜英検の時間」で行うリスニング演習と模試演習のデータは1学期に1回集計し、英語力を検証することとします。

② 補習授業

5・6年生を対象の補習授業は、月曜日から木曜日までの8限目に行われます。基礎基本を定着させるためや授業内容の発展的な問題に取り組むために行われますので、できるだけ受講してください。受講講座は、各学期に調査します。学級担任の先生とよく相談し、最も自分にあった授業を取るようにしましょう。

③ 特別活動

(1) 児童会・委員会活動

本校の児童・生徒会、委員会の規定は以下の通りです。

I 西大和学園カリフォルニア校児童生徒会をNACS（NAC Student-body）と呼ぶ。

II NACSは、自主的活動により児童生徒相互の団結と親睦を図りながら、よりよい校風を樹立し、児童生徒一人一人が清く明るく豊かな学校生活を送ることを目的とする。

III NACS会長、副会長、役員について

(ア) 生徒会会長及び児童会会長は小学部高学年と中学部より選挙により各1名選出する。

(イ) 生徒会副会長及び児童会副会長は小学部高学年と中学部より選挙により各1名選出する。

(ウ) 生徒会役員及び児童会役員は、小学部高学年、中学部より選挙によりそれぞれ各1名選出する。

Ⅳ Ⅲの選出は、年に2回、本校小学部5年以上の立候補者から、小学部4年以上の児童生徒が投票し、選出する。

Ⅴ 各学級は、以下の委員を置くものとする。

・文化図書委員 ・環境美化委員 ・生活体育委員

Ⅵ 各学級NACS役員及び、⑤の委員の任期は、前期・後期2期制とする。

(2) クラブ活動

健全な趣味と豊かな教養を養い心身の健康を助長し、集団生活において助け合い精神を養う目的で、4・5・6年生を対象に、必修クラブ活動があります。前期、後期の2回希望調査を行い、入部決定後は、半年間は転部を認めません。

④ 宿泊行事

本校では、協調性を高め、また異文化理解を深めるために、小学部では5・6年生を対象に宿泊行事（年1回を予定）を行います。宿泊行事は、原則として全員参加とし、参加費は実費を徴収します。

VII. 中学部に編入学する皆さんへ

西大和学園カリフォルニア校に入学された皆さんは、本校の生徒として生活していくことになります。新しい環境で、生活することに少なからず不安もあると思います。しかし、それ以上に皆さんは夢と希望に胸をふくらませていることでしょう。今のその気持ちを大切に、新たな第一歩を踏み出してください。そして何事においても、一步一步確実な歩みによってしっかりとした基礎を積み上げていってください。本校での生活が、限らない可能性を秘めた皆さんの飛躍の場となることを切望します。

さて、そのために本校の生徒としての自覚をもってください。学習の内容もこれまでより豊富でかつ深く細かい専門的なものになります。それぞれの学年にふさわしい学習方法を身につけるために後に述べることをしっかりこころがけるようにしてください。

1 学校生活について

① 学校の授業について

すべての教科において、基礎知識を完全に習得し、その基盤の上に応用力をつけましょう。

(ア) 1時間1時間を真剣勝負ととらえ、全力をもって集中すること。

(イ) 始業の前に着席し、授業を受ける準備をしておくこと。授業と授業の間の休憩時間は、トイレに行き、次の授業の準備をするためのものである。

(ウ) 授業に必要な教材、その他の用具を忘れないこと。

(エ) 与えられた課題は必ずしておくこと。

② 補習授業について

補習授業は、月曜日から木曜日までの8・9限目に行われます。基礎力を定着させるため、また受験に向けてより高度な問題に取り組むために行われますので、できるだけ受講してください。受講講座は、年度当初に希望調査をします。学級担任の先生とよく相談し、自分に最もあった授業を取るようにしましょう。

③ 特別活動について

(1) 生徒会・委員会活動

本校の児童・生徒会、委員会の規定は以下の通りです。

Ⅰ 西大和学園カリフォルニア校児童生徒会をNACSと呼ぶ。

Ⅱ NACSは、自主的活動により児童生徒相互の団結と親睦を図りながら、よりよい校風を樹立し、児童生徒一人一人が清く明るく豊かな学校生活を送ることを目的とする。

Ⅲ NACS会長、役員について

(ア) 生徒会会長及び児童会会長は小学部高学年と中学部より選挙により各1名選出する。

(イ) 生徒会副会長及び児童会副会長は小学部高学年と中学部より選挙により各1名選出する。

(ウ) 生徒会役員及び児童会役員は、小学部高学年、中学部より選挙によりそれぞれ各1名選出する。

IV Ⅲの選出は、年に2回、本校小学部5年以上の立候補者から、小学部4年以上の児童生徒が投票し、選出する。

V 各学級は、以下の委員を置くものとする。

・室長 ・副室長 ・文化図書委員 ・環境美化委員 ・生活体育委員

VI 各学級NACS役員及び、Vの委員の任期は、前期・後期2期制とする。

(2) クラブ活動について

健全な趣味と豊かな教養を養い心身の健康を助長し、集団生活において助け合い精神を養う目的で、必修クラブ活動があります。前期、後期の2回希望調査を行い、クラブ決定後は、変更できません。

④ 宿泊行事

本校では、協調性を高め、また異文化理解を深めるために、宿泊行事（年1回を予定）を行います。宿泊行事は、原則として全員参加とし、参加費は実費を徴収します。（ユタホームステイに関しては、9年生は参加自由）

2 家庭学習について

学校での授業を聞いて、その場だけの理解にとどまらず、自分自身の実力とするため家庭で計画的に学習する習慣を身につけましょう。

＊ 予習・復習を毎日必ずすること。

＊ 理解できないことや疑問点は、必ずその日のうちに解決してから帰ること。非常勤の先生に質問がある場合は、宿題用ノートなどを活用して質問すること。